

2 プレクラスの実施状況について(2019年度)

市町村名	事業名	実施形態	所管課	委託先	補助金活用の有無	補助金名	対象年齢	対象人数	実施場所	実施期間	実施回数	一回当たりの時間	参加人数	参加者の主な国籍	語彙テストの有無	カリキュラム	課題	
1	名古屋市	初期日本語集中教室	直営	教育委員会事務局指導部指導室	有	文部科学省 教育支援体制整備事業補助金(帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業Ⅰ(帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業))	小中学生	定員15人×2カ所	名古屋市立宮前小学校内及び名古屋市立東海小学校内	年間を通して実施。3カ月程度で修了	月曜から金曜 週5日間	午前9:15～11:30	14人(12月1日現在在籍者)139人(4月1日～12月1日までに通級した延べ人数)	国籍不問	無	「音声」「文字」「語彙」「文法」「読解」「聴解」「作文」の項目を柱にしている。	4月、9月など学期当初に希望が集中するため、入級まで待機する児童生徒があること。	
2	豊橋市	虹の架け橋教室	委託	多文化共生・国際課	学校法人豊橋インターナショナルアカデミー	有	文部科学省 教育支援体制整備事業補助金(帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業Ⅱ(定住外国人の子供の就学促進事業))	6～12歳(原則学齢期にある本市在住の就学支援が必要な児童)	年間40名程度(延べ人数)	学校法人豊橋インターナショナルアカデミー内	4月から3月	祝休日等及び年末年始を除く月～金曜日(年間20日程度)	4時間程度	延べ44名	ブラジル、フィリピン	無	日本語指導、生活指導	・外国人児童生徒の急増に伴い、虹の架け橋教室への入級を希望する者が急増している。 ・虹の架け橋教室の定員を超えてしまい、入級するまでに一定期間待ってもらうケースが発生している。 ・近年、外国人市民の居住地が分散化し、送迎が広範囲となっている。
		プレクラス	直営	学校教育課	-	有	文部科学省 教育支援体制整備事業補助金(帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業Ⅰ(帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業))	6～12才	編入児童は全員対象	岩田小学校内	編入から10週間	200授業時間(1日4時間×週5日×10週間)	45分	18人	ブラジル、フィリピン	無	・学校生活適応指導 ・日本語指導 ・国語と算数の学年相応の内容	・編入児童の急増にともない、対応が十分できない。 ・岩田小学校区以外の編入児童は、虹の架け橋教室での初期支援又は公立小学校へ直接編入することとなり、初期支援に格差が生じてしまう。
3	岡崎市	日本語初期指導教室(プレクラス)「希望」	直営	教育委員会学校指導課	-	有	文部科学省 教育支援体制整備事業補助金(帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業Ⅰ(帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業))	13歳から15歳(中学1年生から中学3年生)	16名	余剰教室のある市内の中学校内	3か月	48回	4時間	5名	ブラジル、フィリピン、中国	有(対話型アセスメントDLA)	日本語(文字、語彙、基本文型、会話、漢字) 数学(個に応じて四則計算、文章題など) 英語(中学1年生程度) 基本的な学校生活	・手続きをはじめとした学校との連携 ・多文化共生に関わる国際課を中心とした他部局との連携 ・日本語教育講師の人材確保 ・在籍校へ戻った後の支援の在り方 ・就学前、小学生、16歳以上の子供たち等、切れ目のない支援 ・生徒指導・生活指導
4	瀬戸市	日本語初期指導教室	直営	学校教育課	-	無	-	小1から中3	特になし	原山小学校・下品野小学校の初期指導教室	初期①で3週間、初期②で3週間	進度によって決まるため回数に定めなし	3時間	原則1から3名	ブラジル・フィリピン・ペルー・中国など	有(DLA)	ひらがな・あいさつ・カタカナ・数字・簡単な計算・日本語の読み取りなど	日本語初期指導教室がある、原山小と下品野小に保護者が送り迎えを原則お願いしているが、最近は送り迎えができないという保護者が多い。その場合は指導員ができる限り在籍校へ巡回指導へ行っているが、指導員が1.5人しかいないので限界がある。
5	豊川市	豊川市こぎつね教室	直営	市民協働国際課	-	有	文部科学省 教育支援体制整備事業補助金(帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業Ⅱ(定住外国人の子供の就学促進事業))	6歳～15歳(就学年齢前児童は、今後豊川の小学校に入学意思のある児童で、年長学年の10月から可)	30人	プリオビル5階 こぎつね教室(豊川市諏訪3丁目133番地)	入室してから6ヵ月以内	週4回	2時間30分	31人	ブラジル	有(市独自の50音テスト)	・日本語の初期指導(ひらがな、カタカナ、漢字、物の名前等) ・足し算、引き算、掛け算等、初期算数 ・日本での生活を前提とした文化体験、学校での生活ルール指導等	申し込み人数が年々増加しており、入室待機が出ている。
6	碧南市	碧南市日本語初期指導教室(いっぼ教室)	委託	教育委員会 学校教育課	NPO法人プラスエデュケーター	有	文部科学省 教育支援体制整備事業補助金(帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業Ⅱ(定住外国人の子供の就学促進事業))	市内小中学生	1教室あたり10名程度	市内の各児童クラブ(毎学期の希望調査をもとに決定)	ほぼ学期全体を通じた期間	60日	4時間	19名	ブラジル、フィリピン、中国	有(DLA)	ひらがな、カタカナ、日常会話の文型、読み書き、	-
7	刈谷市	プレクラス	直営	学校教育課	-	無	-	刈谷市内の小中学生	随時	朝日小学校、かりがね小学校	年間	回数は相談(指導者の空き状況による)	45分間	37人(プレスクール、プレクラス合計)	ブラジル、フィリピン	無	日本で生活するために必要なこと(マナーや文化、学校でのルールなど基本的な生活習慣)を学んでいる。学齢が高い児童生徒には必要に応じて、教科につながる読み書き算について学習している。	-
8	豊田市	ことばの教室	直営	学校教育課	-	有	文部科学省 教育支援体制整備事業補助金(帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業Ⅰ(帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業))	市内小・中学校へ外国(外国人学校含む)から編入した児童生徒(小1～中3)	必要がある児童生全て(人数の上限を設けていない)	市内小学校内3カ所	編入後3～4か月間	週5日間	1日5時間	68人	ブラジル、フィリピン、中国	無(ただし、在籍校へ復帰する際に、4技能についてJSL評価参照枠のステージについて情報提供を行っている。)	・1週間あたり、日本語10時間、文字8時間、算数・数学5時間、総合(図工・体育・習字・適応等)2時間 ・学校の日課にあわせ、朝の会や帰りの会、給食、清掃等も行う ①日本語初期指導 ・学校生活に必要な最低限の日常会話ができる ・ひらがな、カタカナ、小1～2年程度の漢字の読み書きができる ・1日の出来事を述べる程度の簡単な日記が書ける ②教科の補充 ・学年相応の基礎的な四則計算ができる ③学校生活への適応 ・当番の仕事(日直・給食・清掃等)ができる ・1日の学校生活の流れがわかる ・行事の意味がわかる	・国籍、年齢、編入時期等、全てにおいて個別対応が必要であり、対応が困難であること ・何時、何人の編入があるかの予測が立たず、運営が困難であること ・保護者の送迎を原則としているため、送迎者がいない場合は通うことができず、直接学校へ編入せざるを得ない場合があること ・専門的な知識をもった指導者の確保が困難なこと
9	安城市	日本語初期指導教室	委託	学校教育課	NPO法人トルシーダ	無	-	市内に在籍する小学生・中学生	16(各会場8名ずつ)	小学校2会場	6月～3月	月～金	5単位時間(45分×5)	16名	ブラジル、フィリピンなど	無	《小学生低学年》ひらがな、カタカナ、小学校2年生程度の漢字など日常生活がスムーズに行える程度の生活表現や簡単な読み物 短い文を書く練習 《中・高学年以上》小学校低学年の内容に加え、日本語の文型な積み上げ 読解 作文	・会場確保 ・会場までの交通機関・送迎手段の確保 ・中学校卒業後の進路等への接続

10	西尾市	早期適応指導教室	直営	学校教育課	-	無	-	学齢期(小1~中3)対象	30~40人程度	西尾市立鶴城小学校内	約3か月程度	週3~4日	規定なし	54人	ブラジル ベトナム フィリピン	無	・カリキュラム…独自に設定 ・主な内容…日本語(漢字・ひらがな・カタカナ)・社会科等日本に関わること。給食、掃除等の活動	・人数増加のための場所の確保 ・小・中学生の教室分け ・他言語に対応するための人員の確保
11	蒲郡市	蒲郡市日本語初期適応指導教室「きぼう」	直営	教育委員会 学校教育課	-	無	-	小学1年生から中学3年生まで	20人程度	蒲郡市立塩津中学校	3ヶ月	週4日(木曜日以外)	8:45~12:00	29人	フィリピン、ブラジル、ベトナム、中国	無	愛知県教育委員会 義務教育課 発行「日本語初期指導教室の在り方 リーフレット」に準ずる。	保護者の送迎ができず、通級できない児童がいる。
12	小牧市	日本語初期教室	直営	学校教育課	-	無	-	小学1年生から中学3年生	定めていません	小牧市立大城小学校内1か所及び味噌岡地区1か所	入級から3か月	原則週5日	6時間程度	50人	ポルトガル・ブラジル・フィリピン等	無	言語や能力に合わせた1~3人の少人数編成で日本語(会話、文字)算数・数学(四則計算)の指導を行う。日本の学校生活や文化を資料や体験を通じて学ぶ。	外国人の転入が増加し、施設・人員ともに不足する事態に陥っている。一過性のものならよいが、今後続くようであれば日本語教育が必要な児童生徒をいきなり学校へ送ることになってしまい、本人にとっても学校にとっても良くない状況になってしまうことが課題である。
13	知多市	知多市日本語初期指導教室'えがお'	直営	知多市教育委員会 学校教育課	-	無	-	知多市の小中学校に就学している外国人児童生徒	募集定員はない	知多市立つつじが丘小学校内	3か月~1学期間目安	小学生:2コマ/日、中学生:3コマ/日	45分/コマ	9人	ブラジル、フィリピン、ベトナム	無	(公財)三重県国際交流財団 発行「新版 いっしょにまなぼう みえこさんのにほんご れんしゅうちょう2」等をもとに知多市独自で作成した日本語初期指導カリキュラム 学校生活適応指導(学校のきまり、あいさつ等)ひらがな、カタカナの読み書き、作文、数字の教え方など。 独自作成の到達度確認テストあり	・つつじが丘小学校区外の児童生徒の通学方法(原則、保護の送迎だが送迎できない場合) ・児童生徒の母国語が多様化した際の通訳の確保(予算面、人材面) ・中学校の生徒(通学生)の受け入れ体制(1日中小学校で学ぶよりも、給食から在籍中学校に戻す、部活動に参加できる等の配慮) ・小学生向けの教室として開始した為、中学生向けのカリキュラムを検討中
14	知立市	早期適応教室	直営	知立市教育委員会 学校教育課	-	無	-	知立市内小中学校在籍児童生徒(小1~中3)	特に決めていない	知立市立知立東小学校内 社若教室	約3ヶ月	約60日	8:20~15:00	12月1日現在は4名が通室(4月からこれまで24名が通室)	ブラジル、フィリピン、ベトナム	有(愛知県プレスクール実施マニュアル)	初期の日本語指導 文字指導 算数、数学(主に計算) 日本の学校生活指導	・プレクラスの増設(小学1年生から中学3年生まで年齢差があり、その上、入室時期も異なる児童生徒への指導を効率的に行うには、中学生対象のプレクラスの設置が必要。小学校と中学校では学校生活の雰囲気や様子も違うため、学校生活適応の面から見ても、新たに中学生対象のプレクラス設置することが望ましい。) ・視覚機器の充実(視覚から効果的に指導ができる機器(タブレット)(ベトナム語など通訳のいない言語で保護者対応をするために通訳機器(ポケトークなど))
15	高浜市	くすのき	直営	高浜市教育委員会	-	無	-	7歳から15歳(小学校1年生から中学校3年生)	10名程度	市内2校の小学校の教室	4月から3月	一人3か月間	3時間程度	23人	ブラジル	無	平仮名・片仮名50音の読み書き、日常会話、学校に関係するものの名前・身近なものの名前の読み、1年生の漢字	・通室してきた児童生徒が、家庭的な事情や精神的な問題、悩みがあるときには母国語でしか話せないため、通訳がいていただきたいときがある。
16	岩倉市	プレクラス	直営	学校教育課	-	無	-	学校生活適応指導に参加する外国人にルーツをもつ児童生徒。来日直後で日本語が全くできない児童生徒すべて	定員はなく、必要な児童は全員対象とする。	岩倉市立岩倉東小学校	原則1か月	20回	午前中4時間	3人	ブラジル、フィリピン等	有(プレテスト)	学校適応(きまり)、ひらがなの読み、日常会話、計算(学年に応じた) サバイバル日本語	所属校から実施校への登下校は、小学生は保護者による送迎、中学生は自転車も可としているが、保護者が動いている場合、小学生については通学が困難な場合がある。
17	豊明市	定住外国人日本語教育推進プレクラス・プレスクール事業	委託	学校教育課	NPO法人プラスエデュケイト	有	文部科学省 教育支援体制整備事業補助金(帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業(Ⅱ定住外国人の子供の就学促進事業))	7~15歳	45人/年	委託先店舗、市内小学校(1校)	通年	通年(1ヶ月20日×9ヶ月)=180日程度	210分	22名(実数)	ブラジル・ベトナム・バングラデシュ・ネパール(実績)	有(DLA)	文字指導(ひらがな・カタカナ・漢字1~2年生)/文法(日本語学級2+オリジナル教材『こどものにほんご』)/読解/聴解/作文/語彙指導など ※カリキュラムは別に独自作成	・保護者が実施場所まで児童生徒の送迎ができない場合、指導が受けられない。 ・日本語指導が必要な児童生徒の増加に伴う日本語講師の確保 ・日本語講師の増加に対する委託費の充実
18	みよし市	初期指導教室運営事業	委託	みよし市教育委員会 学校教育課	特定非営利活動法人法人トルシーダ	無	-	市内小中学校に在籍している児童・生徒	定員なし	みよし市教育センター	4月1日から3月31日まで	月曜日から金曜日まで(国民の祝日に関する法律に規定する休日及びみよし市立学校管理規則第6条第2項に規定する学校の休業日を除く。)	9:00~15:00	23人	ブラジル、中国、フィリピン	有(日本語のテキストを使ったテスト)	日本語初期指導、文字の指導(ひらがな、カタカナ、小学1・2年生程度の漢字)、教科の勉強、基本的な生活指導	・日本語初期指導を終えた児童・生徒が学校で生活し始めるとき、接続が上手くいように配慮しているが、学校での学習になると専門用語が出てきたり授業のスピードについていけなかったりと困る生徒がいることが課題である。 ・日本語初期指導を必要とする外国人の転入等は増加傾向にあり、現在の場所やスタッフだけでは対応が困難になりつつある。